

## ごあいさつ



本市は『「いのち」と「暮らし」の先進都市 自然を尊び、農を誇り、喜びを生み出す21世紀のまち 鉾田』を目指すこととして、平成19年3月に「鉾田市総合計画」を策定し、前期基本計画に掲げるさまざまな施策を着実に実施してまいりました。

この鉾田市総合計画の前期基本計画が平成23年度に終了することから、前期基本計画の成果を検証し、その検証結果を踏まえ、平成24年度から5年間に取り組む施策をまとめた後期基本計画を策定いたしました。

さて、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、本市においても震度6強を記録し、死者2名、建物の全壊、大規模半壊、半壊やがけ崩れ、道路の陥没、液状化現象による不等沈下など、かつて経験したことのない甚大な被害を受けました。こうしたことから、本市は防災計画の見直しをはじめ、引続き自然災害対策の強化など災害に強いまちづくりを推進してまいります。また社会経済情勢や市民ニーズを踏まえながら、子育て支援、健康づくり、雇用の確保などの様々な行政課題にも取り組んでまいります。

私は、厳しい財政環境の中である今こそ、地に足の着いた事業の推進と、将来を見据えた重点的な投資が必要であると思います。そのためには、スクラップ・アンド・ビルドを前提として「選択と集中」を実践し、真に市民が望む「市民満足度」の高い施策を優先して進めていくことが重要であると考えております。

今後も、本市の目指すべき都市像を実現するため、先人の皆様方によって築きあげられた長い歴史と伝統・文化など鉾田の魅力に磨きをかけるとともに、この度策定しました後期基本計画を着実に推進し、幅広い市民の皆様との協働による市民が主役のまちづくりを推進してまいりたいと思いますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年3月

鉾田市長 鬼沢 保平